

第2学年生活科

「野菜の声を聞いて、元気に育てよう！ ～大きくそだて わたしの野さい～」

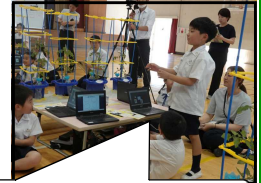
学習指導者 河口 美穂

単元の概要

昨年度、グループで野菜を育て収穫したことを写真で振り返り、本年度も「大きく育てて食べたい」「家族に食べてもらいたい」という思いをもった子供たちは、「自分の野菜を大きく元気に育てよう」という単元の目標を設定した。また、野菜の世話を考える際には、諸感覚を使って観察し、自分の野菜に合った世話を考え、目標達成に向けて継続して世話を続けた。

課題設定

前時に考えた「野菜の声」と実際に行った世話を振り返り、「世話をするのは何のためかな」と問いかけることで、「野菜を大きく育て、クラスみんなで食べたい」などの思いを確認した。続いて、「今日したいことは何かな」と問いかけ、野菜の声を聞き、自分の野菜に合った世話の仕方を考えたいという子供たちの願いを基に、本時の課題を設定した。

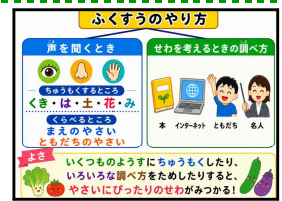


クラスみんなで収穫した野菜を使って、野菜パーティがしたいな。

「野菜の声」を聞いて、世話を考えよう

解決の見通し

「自分の野菜の声をよく聞き、ぴったりの世話を考えるためにはどうすればよかったかな」と問いかけることで、「**複数のやり方でためす**」という方法を想起し、本時に使えそうな世話の仕方を考え、解決の見通しをもたせた。チェックシートや世話ヒントコーナーをいつでも確認できるようにすることで、諸感覚を使って観察し、前の様子や友達の野菜と比べたり、本やインターネットなどを手掛かりにしたりしながら、「野菜の声」に合った世話の仕方を考えようとする姿が見られた。



解決

複数の視点を基に「野菜の声」を想像し、学習支援アプリで撮影した写真に吹き出しで表した。また、同じ種類の野菜で選んだ子供同士でグルーピングをし、世話ヒントコーナーを活用できる場を設定することで、友達に相談したり、本やインターネットで調べたりしながら、自分の野菜に合った世話の仕方を見付ける姿が見られた。全体交流では、「根が土から出ているので、土を増やしたい」など、本時新しく見つけた世話を「自分の野菜にも必要かもしれない」と考え、友達の考えを自分の世話に取り入れていた。

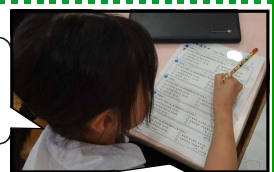


葉と土が乾いていて、「のどが渴いたよ」って言っているよ。

振り返り

できたこととその理由を振り返りカードに記述する時間を設定することで、自分の学びを明確にした。また、友達との交流を通して、自分では気付かなかった「野菜の声」や世話の仕方に気づき、友達と関わるよさを実感していた。さらにこれからも自分の野菜の様子をよく確かめ、よりぴったりの世話を考えようとする意欲を高める姿が見られた。

今日は、今の自分の野菜に合った世話の仕方を考えることができたよ。



できた理由は、複数の様子を比べて世話の仕方をインターネットで調べたからだよ。

考察（○：成果、▲：課題）

- 子供たちは、葉や茎、土などを見たり触ったりしながら、繰り返し野菜に関わったことで、「野菜の声」を想像し、野菜に合った世話の仕方を意欲的に考えることができていた。
- ▲ 「野菜の声」と世話の仕方をつなげて考えることが難しい子供もいた。今後は、教師のモデリングを通して、野菜の様子を捉えてから必要な世話を考える手順を、二年生に分かりやすく示す必要がある。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。



